

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

| | |
|-------|-------------------------|
| 団体名 | 京都技術士会理科支援チーム |
| 活動テーマ | 東日本大震災復興支援こども理科実験教室2017 |



私たち京都技術士会理科支援チームは、今年も東北で「東日本大震災復興支援こども理科実験教室」を開催しました。今年、主に行っている福島県だけでなく、三陸沿岸へと足を延ばし、岩手県でも行いました。福島県郡山市では、現地の要望が強く2年連続の開催となり、また岩手県大船渡市、陸前高田市では初めての開催となりました。

私たちは、次のことを活動理念としています。

- ・東日本大震災で被災した東北の復興に係わる人材の育成
- ・「ものづくり大国」 日本を担う優れた理系人材の育成

子どもの理科教育が科学技術立国を目指す我が国の根幹をなすものであり、この推進は教育現場、家庭のみならず、社会全体が十分に責任を負うべき課題と考えて活動しています。一方、東日本大震災の被災地である東北地方は、被災7年目を迎えてなお復興途上にあります。特に沿岸部は今でも多くの重機作業や運搬車両が行き交う状況が続いています。教室では、種々の専門分野の技術士が、自分自身の経験と専門知識をもとにした手作りのカリキュラムによって、理科実験を子ども自身に体験してもらいます。これを通じて、子どもたちの好奇心と探究心を喚起することが復興への一助となるとともに、東北、ひいては日本の将来を支える理科好きの子どもたちの育成につながると考え、震災の翌年(2012年)から毎年、この教室を開催しています。

来年は、福島教室は福島県福島市、三陸教室は、宮城県気仙沼市、岩手県大船渡市・陸前高田市で行う予定です。